

# はぐくむ光のびる若芽

(146)

橋場 深田郁子

高校3年の娘幸子、小学2年の息子翔と、年の離れた姉弟がいます。

私自身、過保護と認識していますが、長い一生のほんの短い期間の子育てです。わがまま一杯にふるまわせて、溺愛して育てています。

急ぐことなく、ゆつくりであっても、子どもは子ども自身の中で自覚し、自立への道を歩み始め、自然に親離れしていくと思います。

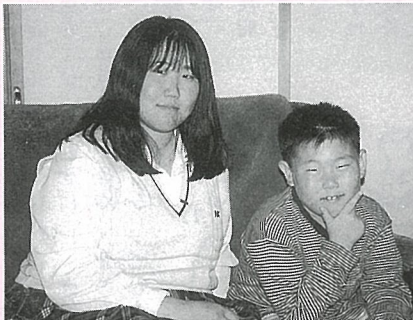
大事なことは、親が子離れをいつするのか考え、この時期を逸することのないようにすることではないでしょうか。

常々、子どもに言い聞かせていることは、「他人に迷惑をかけるな」「始めのことは最後までやり抜くこと」「問題が起きた時親は全力で守るが、限度があり、最後は自分自身の決断しかない」の三つです。

他人とのかわり、責任感や自立が身につけて欲しいと願う親の気持ちからです。

幸子は思春期まつ盛り、友達のこと、勉強のこと、将来への期待と不安等、悩みながらも、考え、模索しています。母と娘は、友達

## 親子のかかわりあいを大事に



▲高3の幸子さん、小2の翔君の2人

であり、よき先輩と後輩であり、お互い認め合い、競い合う、よりよい関係と自負しています。

翔は、高齢出産で二人目ということもあり多少余裕のある接し方ができているように思います。なるべく同じ目線で見て考え、行動するよう心掛け、聞かれた

ことは、必ず答えるよう努めています。

わからないことや、あやふやなことは、1人であるいは2人で一緒に調べます。

子どもにとって、難しく理解しがたいことでも、きちんと説明します。理解できなくても翔なりに納得し、次の好奇心に移っていきます。

男の子である翔は男同士という点で父親との交流は

かかすことのできないものです。休みの日は、父親と共に屋外で一緒に遊び、同じ時間を過ごすことで家族の交流をはかっています。そして両親が同じ価値観のもとで、幸子、翔とのコミュニケーションをするようにしています。

# 東陽病院だより

## 赤ちゃんの誕生を応援します

産婦人科に  
平井医師常勤



産婦人科は、6年度から2年間常勤医師の不在で外来診療のみで、皆様にご迷惑をおかけしていましたが、広報4月号でもお知らせしたとおり、4月から平井真紀子医師が着任し、外来診療も毎日行っており、お産や入院に充分対応できる体制となりました。



### 科別外来日程表

曜日	午前							午後		
	内科	外科	産婦人科	整形外科	脳外科	泌尿器科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	
月	粕谷	宇野	大原 院長	平井	小笠原			千葉大学 医師	武宮	
火	桜井	鈴木	前田	平井	俊		辻			
水	宇野	呼吸器 大滝	大原 院長	平井	俊		金田	千葉大学 医師	武宮	
木	鈴木	循環器 船橋	前田	平井	阿部					
金	粕谷	馬場	佐野	平井	俊	中崎	落合	千葉大学 医師	武宮	
土	馬場		佐野	平井	古本					
診療場所	1階 1番	1階 2番	1階 3番	2階	1階 5番	1階 3番	1階 7番	1階 3番	1階 8番	1階 6番